

# CiNiiのいま、これからのCiNii

国立情報学研究所

コンテンツ科学研究系

学術コンテンツサービス研究開発センター

大向 一輝

## 研究テーマ

次世代のウェブとコミュニケーション

セマンティックウェブとソーシャルウェブ

「ウェブがわかる本」岩波ジュニア新書

## CiNiiとのかかわり

学生・研究者として

いちユーザ

NIIの人間として

書誌詳細の公開・Google連携

次期CiNiiの設計



# 情報爆発時代のコンテンツサービス

人は何を探しているのか？

ウェブページ・本・論文 → 「情報の入れもの」

情報そのもの

「広く」から「深く」へ

1. 何かないか？
2. もっといいものはないか？

逆ではない

CiNiiにできること

1. 可能性を列挙する
2. 信頼性を担保する

(汎用) 検索エンジンとの連携

# Google連携のコンセプト

「なかったこと」になっていた情報を可視化 (ITmedia)

何を検索してもCiNiiが引っかかる

専門用語ならなおさら

「アリ地獄作戦」

来たトラフィックは逃さない

すべてのページをポータルに

書誌詳細 = 論文パーマリンク

検索・引用のターゲット

次の検索の起点

正しいSEO



## 成果

書誌詳細へのアクセス

検索回数が増加

アリ地獄作戦の成果

論文PDFダウンロード回数が増加

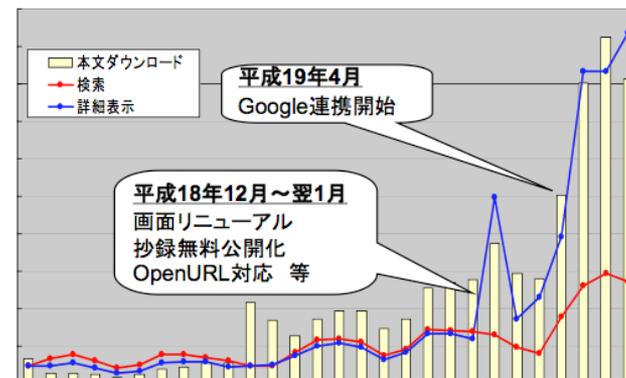
## 課題

負荷の増大・サービスへの影響

一般ユーザに対するユーザビリティ

## 次期CiNii

完全に再設計



# 次期CiNiiのコンセプト

システムアーキテクチャの刷新

さらなるアクセス増に耐えうるシステム作り

ウェブAPIによるエコシステム作り

「人と論文」

情報源としての人

人を通じて論文を探す

論文を通じて人を探す

ユーザビリティ

探しやすく・見つけやすく・手に入れやすく

ソシオメディア様との協働



2009年4月リリース！（予定）